



久屋小だより

大田市立久屋小学校

令和7年3月13日

(校長 山本孝志)

学校評価について

【令和6年度 学校評価(抜粋)】(詳細な学校評価シートは、今月中にホームページに掲載します)

評価項目		児童 %	保護者 %	職員 %	評価	学校関係者評価 コメント
1	「やってみたい。調べたい。こうしたい。こうやればできそう。」などの思いをもって学習している。	92	88	91	A	◆児童の回答は、低学年と高学年では差があると思われる。学年ごとに変化を分析する方法もよい。また、アンケートの発問の仕方を学年に応じて変えるのもよいのではないか。 ◆タブレットがしっかり活用されている。高学年の探求活動発表はすばらしかった。 ◆下校後、外遊びをする児童は減っていると思われる。メディアとの付き合い方に配慮が必要。 ◆2, 4, 6の項目の職員評価はかなり低い。数値ほどできていないことはないのではないかと感じる。発達段階に応じた到達目標の吟味が必要。
2	自分の方法や考えを大事にして、最後まで伝えきり、やりきることができている。	78	65	55	C	
3	友達と学びあい、「わかった。」「あんなやり友があるんだ。」「みんなでいい勉強ができた。」などの気づきがある。	86	92	73	B	
4	学級や学校、自分のくらしをよりよくするための問題に気づいている。	73	71	64	B	
5	学級や学校の問題を解決する方法を考え、取り組むことができている。	90	92	82	A	
6	学級や学校の問題を友達といっしょに解決し、その成果をみんなで感じている。	67	76	45	C	
7	毎日の授業や学級・学校生活の中で、よい仲間ができています。	92	86	91	A	
8	前とくらべて、読書量や本を使った学習の時間はふえている。	86	51	91	A	
評価 A：十分達成した B：概ね達成したが今後も改善が必要 C：改善が必要						

2月28日の学校運営協議会において、アンケート結果の説明を行い、評価委員の皆様よりご意見を頂戴しました。委員のみなさんには、学校の取組のよいところをたくさん挙げていただきました。また、児童の主体性を大切にする活動のアイデア等もいただきました。一方で、目標の設定が、児童の発達段階に合ったものになっているか、児童が学校で楽しく過ごせる支援を今後も続けてほしいというご意見も頂戴しました。今後の課題・注力すべきこととしてお聞きしました。

保護者の皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

6年生を送る会

3月4日に6年生を送る会を行いました。企画・運営は5年生が担当し、準備は1～5年生で分担して行いました。すばらしい会でした。

1～4年生。会場の飾りつけや看板、プログラム、くす玉づくりなどの準備に一生

懸命取り組みました。また、1～4年生の出し物は、準備や練習に時間をかけたことがよくわかるものでした。どの出し物も、楽しくてあたたかいものばかりでした。6年生も楽しんでいました。

5年生。この送る会は、5年生にとってはかなり重要です。4月からの学校のリーダーである6年生としての姿を占う意味も持っているからです。この日、5年生が先生の指示で動くような場面は、ただの一度もありませんでした。この一年、すぐそばで6年生の姿を見ながら、一緒に児童会や行事をリードしてきたことで、リーダーとしての力を高めたということ、この送る会で証明したように思います。本当に頼もしい5年生です。

そして、6年生。送る会が素敵な会になったのは、1～5年生のがんばりが大きかったのは間違いありませんが、6年生の力、人柄によるものも大きかったと思います。ノリノリでポーズをとったりダンスをしたり、楽しそうにクイズに答えたりして、会の雰囲気を盛り上げてくれました。そんな彼らが、最後には真剣な表情で語るので、ぐっときてしまいました。

1～5年生は、「6年生のために」という同じ目的に向かって一丸となって準備しました。そして、6年生は、1～5年生に「6年生のためにがんばろう」と思わせるような、そんな6年生であったということです。よい会にならないわけがありません。

6年生が小学校に登校するのはあと3日です。1～5年生は、6年生とたくさん関わって、よい思い出をたくさん作ってください。そして、6年生が立派に巣立つ姿を目に焼き付けてほしいです。

6年生のみなさん、卒業はお別れのときではありますが、新しいステージに旅立つという、めでたい門出のときでもあります。どうか、清々しい気持ちで卒業式に出席してくださいね。

